

祝！創刊3周年

いきなり始める
老松町。

老松町

月刊島民

橋を渡る人の「街事情」マガジン

中之島

Vol.37 2011 8/1

●iPadサイズ (と、ほぼ同じ)



ナカノシマ大学

釈 徹宗×高島幸次

「大阪の神さん、仏さん」

〈仏さん編〉その1

申し込み受付中!



いきなり始める老松町。

古美術品や骨董品を扱う店が集まることで有名な西天満・老松町。一般人には立ち寄りがたい街かと言えば、実はそうでもないらしい。最近ではカフェやギャラリーなど新しい店もできつつあり、気軽に街歩きを楽しめるエリアになってきているようだ。まずは街の歴史をたどるところから、いきなり始めてみよう！

取材文／金哲志（本誌）

●「老松」の由来。

今でこそ古美術品店や骨董品店が建ち並ぶ老松町（西天満4丁目周辺）だが、かつては大阪天満宮への表参道として栄えていた。現在は大阪天満宮に合祀されている老松神社の縁起によれば、「老松」の町名の由来は貞観2年（860）にさかのぼる。神功皇后が九州の筑紫から帰ってくる際に大嵐に遭ったものの、この付近の巨大な松の樹の下で雨宿りをして難を逃れたため、そのお礼に神社を建立したことからこの名がついたそう。



●美術の街へ。

戦後間もない頃には、北新地へと出入りする芸者さんたちの待機場所である置屋が並んでいた。昼下がりに銭湯へ行くと着流し姿の芸者さんがしやなりしやなりとのれんをくぐって出てきたり、夜半は三味線の音が聴こえてきたそう。

美術の街へと発展し始めたのは、昭和22年（1947）、平野町にあった「平野古陶軒」が移転してきたのがきっかけ。「古美術の東大」の異名を持

●変わる客層。

裁判所にほど近いこともあり、どの店も顧客の多くは弁護士など法曹関係の人たち。バブル期に比べれば大口の美術愛好家の数は減っているというが、やはり根強いファンも多いのだそう。反対に増えているのは、韓国や中国などアジア各国からの観光客。自国の陶磁器を買い付けに訪れる人々にとっては、同業者がひとところに集まる老松町の存在は貴重で、観光バスで訪れる団体客もいるほどの人気だ。

●古美術祭のスタート。

平成7年（1995）からは「老松古美術祭」がスタートした。「年末大売り出しのような感じでやりたいね」という店主たちの何気ない会話から生まれたもので、持ち込みの美術品の無料鑑定や軒先での骨董品の販売が好評を博し、毎年春と秋の年2回開催。今年の秋で33回目を迎える定例イベントに成長。大阪だけでなく、全国からファンが訪れ、美術の裾野拡大にも一役買っている。



第33回 老松古美術祭

今年秋の老松古美術祭は10月8日（土）と9日（日）の2日にわたって開催される。各店では骨董・美術品の無料査定や買い受けを行うほか、軒先でのワゴン販売や入札会を開催するなど、お祭りならではの企画が目白押しだ。開催時間は各日10:00AM～9:00PM。雨天決行。詳細は老松町のHdでも。http://www.oinatsucho.gr.jp/



美術の街、その「入口」。

取材：文／金哲志（本誌）

老松町随一の老舗古美術店。 瀧川峰晴堂

老松町の古美術商たちが、「古伊万里 柿右衛門、古九谷など焼き物ならここ」と口を揃えるのが「瀧川峰晴堂」だ。創業100年を超える老舗で、もともとは老松町ではなくミナミに店を出していた。40年ほど前に静かな場所を求めて老松町へ移転した。「古美術品と言うと、いかにもクロースドな世界で、物と値段の釣り合いが不透明と思われがちですが、実はしっかりとした基準の下に相場が決めら

れているんです」と、4代目の瀧川安広さん。確かなものを適正な値段でお客さんに届けることをモットーとしている。数ある店の中でもメジャー級の軒だ。



写真の初期伊万里「柘榴輪花中皿」のように、古陶磁を中心に扱っている。東洋陶磁美術館の帰りに来るお客さんも多いのだそう。

日本美術



たきがわほうせいどう 瀧川峰晴堂

美術店での買いもののコツを尋ねると「何が欲しいのかを知るには、会話が一番ですね」と瀧川さん。思い切って気軽に話しかけてみよう。
☎06-6365-7540 9:30AM～6:00PM
(土曜～5:00PM) 日・祝休



美術館も信頼を置く プロフェッショナル。 藤原集古堂

昔から中国史が大好きで、陶磁器や金石、玉器などの中国美術に魅せられた店主の藤原至さん。大学在学時、かつて老松町にあった「古美術の東大」こと「平野古陶軒」で働きたいと思い訪ねたが、最初のうちは門前払い。それでも諦めずに訪ね続け、「三顧の礼どころか、4回目に訪ねてやっと働かせてもらえることに」。



そこからはひたすら勉強の日々。中国美術への情熱と名店での修業に裏打ちされた知識は専門家からの信頼も篤く、大阪市立東洋陶磁美術館の資料評価委員も務めるほど。「美術館に置くようなきちんとしたものが欲しい人はうちへ」と藤原さん。入門者・上級者にかかわらず、中国美術について知りたい人には打ってつけの「扉」だ。

教えて！美術のお仕事①

【古美術商】

お答え：藤原 至さん

まずは仕入れ。業者間の交流会やオークション、入札会、コレクターからの買い取りなどが一般的です。また、国内はもちろん海外へ買い付けに行ったりもします。普通の小売業に比べればお客さんの絶対数は少ないし、美術品に興味の無い人たちがしたら「どうやって生計立てているんですか？」なんて聞かれるときもあります(笑)。でも、そのぶん顔がよく見えるということだから、まめに通ったり、好みのものを探しに行ったり、その人のためにと足を使う仕事ですね。

ふじわらしゅうどう 藤原集古堂

扱う美術品は「本物」だけにお値段もそれなりのもの。セキュリティのためにお店の扉はロックされているが、ノック1つで藤原さんが笑顔で迎えてくれる。☎06-6365-1387
10:00AM～6:00PM 日・祝休

「唐白銅四花紋鏡」をはじめ、歴史的な価値のある確かな品が並んでいる。店頭に並んでいるもの以外にも、まずは相談してみよう。



美術

韓国美術

古美術祭で町全体をリードする。
横垣粋古堂



高麗や李朝の陶磁器や金石を主に扱っている「横垣粋古堂」。昭和53年（1978）、老松町にいた先輩たちの誘いを受け、店を構えた。「若手として来たのに、いつのまにか古参になっていった」と謙遜する店主の横垣昌明さんが、今年の秋で33回目を迎える「老松古

美術祭」の発起人でもあり、町全体の盛り上げ役になっている。「この世界はいかに良いものを見て、自らの眼を養っていくかに尽きる。例えば韓国の陶磁器でも、王朝がしっかりしていた時は官用の窯があつて、突飛なものではなくパターンがある。分からないうちは信頼できる店に行くのが一番」と横垣さん。やはり知りたいたことは素直に聞くのが、老松町での心得のようだ。



「李朝染付の壺」。表面に施されている青い紐のような装飾は「宝づくし」といって、祭事などにも使われるおめでたいもの。

よこがきすいこう
横垣粋古堂

韓国の古陶磁だけでなく、中国や日本の陶器も扱っている。「取り扱う商品に自信がある。それが誇りです」と言い切る横垣さん。根っからの美術好きだ。☎06-6361-1286
10:00AM～6:00PM 日・祝休

入りがやすさが 信条のギャラリー GALLERY帝塚山 西洋美術



昭和48年（1973）に1号店を老松町に開店して以来、ヒルトンプラザ・イーストや、東京・京橋、奈良・西大寺などにも出店している骨董品店。各国の古陶磁や骨董品、仏教美術品など、幅広いジャンルを扱っている。中でも西洋アンティークに関しては、ガレ、マイセン、オールドノリタケといった人気の高い食器を始めとし、相当な数を持っている。店主の堀田昌彦さんはもとと美術品のコレクター。「収集家時代、お客さんとして入りにくい店が嫌だったんです。それで、ないなら自分で作ってしまおう」と思い立ち、骨董商の道に進んだ。好きが高じて生まれたギャラリーは、宝探し感覚で覗いてみたくなるような親しみやすさがある。



ロシア帝室御用達の宝石商「ファベルジェ」の杯。装飾品として利用された。商品のジャンルだけでなく値段も幅広く、お皿など数千円代の物も。

GALLERY帝塚山

店内の商品はシルクロードになぞらえ、手前から奥に行くにつれて西洋、東洋、日本と変化する。遊び心を感じさせる陳列は、コレクターならではのと言える。☎06-6363-1135
10:00AM～6:00PM 日・祝休



老松町とわたし。



来るたびに変わる絵。
その秘密は…。
画廊喫茶イーゼル
吉田知子さん(右)
小川寿実子さん(左)

この場所で喫茶店を始めたのは昭和50年(1975)から。私の兄で画家の西美知夫が店を設計し、店内に自分の作品を飾って画廊喫茶という形態でやっています。当時の喫茶店としては珍しく窓の大きな山小屋風の建物なのですが、この窓は額縁に見立てていて、大阪地方裁判所の外堀に咲くボケの花やケヤキの木を借景に、訪れるたびに変わる絵を作り出しているんです。老松町の周辺で働く人たちの潤滑油になればと思って始めた喫茶店業でしたが、官庁街で静かだったことや周りに骨董品店や美術品店があったことで居心地も良く、気がつけば36年経っていました。本棚に美術年鑑や六法全書を並べているのも老松町ならではのですね。

イーゼルとはカンバスなどを固定するための支持体のこと。コーヒー 400円。ふかしたジャガイモやバナナが付いてくるモーニングサービスが好評。
☎06-6362-5049 8:00AM ~ 6:00PM (土曜10:00AM~) 日・祝休



美術ファン
御用達の「図書館」。
ギャラリーヒロオカ
廣岡正次さん

かつて横丁にある「リーチアート」という美術書店で働いた後、独立して昭和39年(1964)にこの地に店を構えました。老松町は今のように骨董店や美術店が集まっているような街ではなく、単純に梅田駅や大阪駅から近い割に土地代も安かったことが決め手でしたね。段々と店が集まっていくにつれ、店主が調べ物をするために立ち寄ったり、美術愛好家の方が好きな作家がどのような人物だったかを知るために訪れるなど、いつのまにか美術館図書館のような役割を果たすようになりました。スペースの都合もあってこの8月からは堂島ビルの近くにある大和ビルに移転しますが、これからも老松町や大阪の美術愛好家を支えていきたいですね。

近代絵画の美術書、展覧会の図録、画集などを扱う美術古書店。鎌倉や兵庫の美術館学芸員も本を買い求めるほどの知る人ぞ知る名店。☎06-6361-4855 4:00PM ~ 7:00PM 日・祝休

京都の画廊で修業していた店主の西将来さんが独立、開業したのが9年前。近現代の日本画や洋画、掛軸などを中心に「掛け物」全般を扱っている。明治から昭和の日本画家である山下摩起や、後期の日本画家である上原卓の作品については、遺族による作品鑑定の窓口業務も行っているなど、特に力を入れている。「掛軸や絵画は、場所の広さ、部屋が洋風か和風かなどの制約がある。毎日見るだけに、その人に本当にスパンとはまるものなのかといった難しさもありますが、そこが面白いところ」とは、現在店頭に立つ山本祐さんの有名な作家だけでなく、若手の発掘も怠らないなど、新しい風を吹き込む。

「人」場所に
ふさわしい絵を。
西美術店

画廊



店内の壁紙も、和のものを掛けるところは和風、洋のものには洋風、とお客さんが想像しやすいよう気を配っている。左上の写真は上原卓の「森の小径」。

西美術店

老松町には数少ない画廊。百貨店での企画展や、北船場・西天満・北浜のギャラリーが展覧会を開催する「Festart Osaka」にも参加するなど、様々な試みを行っている。☎06-6362-2438 11:00AM ~ 7:00PM 日・祝休



教えて！美術のお仕事②

【画廊】

お答え：山本 祐さん

絵の販売には、来店されたお客様へ売るほか、デパートの外商顧客の方や、美術催事での販売もあります。また、売却を依頼された品の買い取り、オークション会社への出品代行などが基本的な仕事です。うちで特別にやっていることと言えば、年に数回ほどデパートなどで個展やグループ展を行っているほか、何社かの画廊と合同でアートフェアに出展することもあります。当たり前すぎて仕事と言うのはばかられますが、若手作家の発掘は忘れてはいけないことの一つです。

老松町
NEO!

「こんな 入口」もある。

取材文 李宗和(本誌)

老松町が変わりつつある。この街の雰囲気
に魅せられ、新しい店が増えているのだ。2

004年にトルコのコンヤから移転(！)し
たトルコキリムの店「SUFİ」はその代表格。
オーナーのオスマン・ダールさんは、来日し
た際、「ここならキリムを大事に使ってくれ
るお客さんが集まる」と直感。オープンして
すぐ、20年も大事に使ったトルコキリムを持
って修理のお願いに来た地元客に会い、「こ
こで間違いないかった」と思ったそうだ。

「若いけれどものの価値がわかるオーナー
の店が増えてきました」とダールさんも語る
ように、新しくやって来るのは雑貨や古本な
ど自分の好きなものと向き合う人ばかり。「物
を丁寧に扱っている街と人の雰囲気がたまら
ない」というダールさんの言葉は、老松町の
伝統だろう。

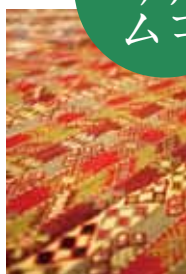


トルコ
キリム

凄腕キリム職人が老松町に。

SUFİ

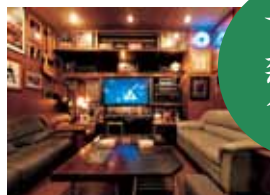
壁一面の棚には、手間暇かけて織られたトルコの伝統的織物・キリムがぎっしり。ラグやマットのように敷いたり、その美しさからインテリアとしても使われる。オーナーのオスマン・ダールさんは、14歳からトルコキリムの修理に携わり、コレクターが所有する数百万円もする高級なキリムも数多く修理してきた。ダールさんがこだわるのは、「店に来てキリムに触れて、その良さに納得して購入してもらう」こと。本号の配布期間中は買い付けのために残念ながらトルコに帰国中。興味のある人は、再営業する9月5日(月)以降に。



トルコキリムはクッションカバー 6,300円〜。修理は「高価なので、趣味程度でやっています。急がないのなら相談にのります」とのこと。

☎06-6364-8550 11:00AM ~ 7:00PM
日・祝休 (予約があれば営業)

バー&
古雑貨



BGMも内装も「矢沢永吉」一色。ハイボール700円〜。バーの向かいでは、「オールドアメリカ」をテーマにした雑貨店も営業。



「何か」を愛する人が集う。

FOGGY

矢沢永吉をこよなくリスペクトする橋本夏也さんが切り盛りするショットバー。以前は堂山にあったバナナホールの向かいで矢沢ファン相手に営業をしていたが、バブルがはじけたのを「人生の節目だ」と考え移転してきた。美術に限らず、いろいろなものに熱い情熱を注ぐ老松町ならではのひとと、橋本さんの「好き者」ぶりがシンクロ。世界観がぐっと広がり、今では落語やブルースのライブも定期的で開催するように。好きが高じて雑貨店まで始めてしまった橋本さんのもとには、今宵も「何か」を愛する客が訪れる。

☎06-6316-0099
7:00PM ~ 3:00AM 日・祝休

酒器



酒器1,000円～。辻川さんの酒器ト
ークも待っている。長居必至。通常
販売以外に「酒器1,000円均一」と
いった催しも不定期で開催。



酒器の愉しみを気軽に知る。 はこ益

店主の辻川雅偉さんは大の日本酒好き。
それが高じて20代から蒐集していた酒器
の数々を並べる店を始めた。切りガラス
や白磁の器が、白壁の空間に配される様
子はまるで小さな陶磁美術館。シンプ
ルなレイアウトに、つい高価な作家ものば
かりかと思ってしまうが、扱うのは時代
に関係なく、主に普段使用に大量生産
したものだというセレクトがなんと面白
い。「名もない職人さんは、こんな風に
置かれているなんて思っていないでしょ
う。でも素晴らしいものが多いんですよ」と
辻川さん。気軽に入ることができる。

☎06-6364-9822 1:00PM～7:00PM
(日曜12:00PM～5:00PM) 水・祝休

年代問わず「良いもの」を。 白灯 -hakutou-

神戸・元町の海岸通…とってしまうナ
チュラルテイストの雑貨店。どっしりと
した店の多い老松町では希少だ。川沿い
の風景が近くにあり、古い建築が残る、
落ち着いた街の空気感に魅せられた高井
陽子さんが3年前にオープン。店内には
製法と素材にこだわった現代のアイテ
ムに加えて、古伊万里の徳利や佐渡島
の裂き織など懐かしい味わいのものも良
いバランスで並ぶ。「古いものを気兼ねなく現
代の生活に取り入れて欲しい」と高井さ
ん。年代を問わず良いものに触れること
で、アンティークの道に目覚めるかも。

☎06-7504-8487
11:00AM～7:00PM 月曜休



リネンハンカチ各1,155円。骨董品
は古伊万里なども置かれる。若い人
には新鮮な、年長者には懐かしいも
のが同居している。

雑貨



アート& ブックス



知る人が見れば「おっ！」
となる雑誌や書籍が満載。
状態も良く、今牧さん曰
く「他なら倍の値段じゃ
ないかな」というものも
多い。

良ストックをお裾分け。 edge

オーナーの今牧正昭さんは広告会社で
企画制作を30年以上勤めたキャリアの持
ち主。現在は、雑居ビルの2フロアを借
り切って、現代美術をテーマにした低料
金の貸ギャラリーと古書店を営んでいる。
古本は、今牧さんが広告会社勤務時代に
プレゼンの資料として購入した膨大（ダ
ンボール100箱以上！）なストックの中か
らセレクト。仕事用に買ったものとはい
え、アート・哲学・写真・絵本など多彩
なラインアップが面白い。自慢は1970年代
の絶版サブカル誌。「使わなくなったもの
だし」と良心的な値段設定もありがたい。

☎06-7503-4275
1:00PM～6:00PM 水曜休

さすが!? 一棟丸ごと「美術」な ビルを発見!

取材文／金哲志(本誌)

老松町には1階が古美術品店や画廊で、上の階は弁護士事務所や会計事務所というビルが多い。だが、中にはすべての階が美術・骨董品関連という場合もある。その名も「大阪美術ビル」は1階の「GALLERY帝塚山」(P4)に始まり、5階まで美術関係のスペースとして埋まる。ビルのオーナーでもある「GALLERY帝塚山」の店主・堀田昌彦さんが「いろいろな形で美術に触れられるものを一箇所に集めたら喜んでもらえるだろうと思って」



5F 最上階はなんと茶室「昌慶庵」。オーナー・堀田さんからデザイン。貸し出しも可。

始めたもの。さすがは美術と文化の街と思わせる、次は何が出るかとわくわくする探検スポットだ。



4F 老松古美術祭の時には、250点もの美術品が並ぶ入札会場になるホール。



2F のらくろや黄金バットなど、大正・昭和の昔懐かしい品物が並ぶ雑貨店。



1F GALLERY帝塚山

変わる、 深まる、 老松町。



「食」エリア化する 老松町の最前線・ 老松小路とは。

取材文／李宗和(本誌)

一気に飲食店が増えた福島を思わせるほど、イタリアンやカフェなどが開店し「食」エリア化しつつある老松町。それを象徴するのが「老松小路」という一角。「昔あった女将さんや大将がいる飲食店を再現する」というテーマのもと、袋小路に連なる木造住宅の空家を昔ながらの情緒を残しつつ、計4店舗の飲食店にリノベーション。すでに今年の春から日本料理の「くま家」とオーストラリア料理の「WILD DELI」という個性の異なる2店舗が営業を始めている。老松町の新たな顔となるか、これからが気になるところである。



とく家

ホテル・料理旅館の料理長として長年腕を振っていた石井督二さんが、55歳にして初めて独立。てらいのない和食の味に早くも常連客が多数。☎06-6367-0558



WILD DELI

堂島にあったオーストラリア料理店がバル仕様となって移転。あまりなじみのないオーストラリア料理だが、洗練された皿の数々には驚くはず。☎06-6311-8998

2011年
9月講座

連続講座「大阪の歴史をやり直す」

②宗教 大阪の神さん、仏さん〈仏さん編〉その1

対談／**釈 徹宗**（浄土真宗本願寺派住職） **高島幸次**（大阪大学招聘教授／大阪天満宮文化研究所員）

人気シリーズも
いよいよ折り返し。
大阪とお寺の係に
迫っていきます。

ナカノシマ大学が誇る人気シリーズ「大阪の神さん、仏さん」は、釈徹宗先生と高島幸次先生という、いずれ劣らぬ語りの名手二人による対談。これまでの〈神さん編〉では、神道に関する一般的な知識から、社格の高い神社が多いとい



う大阪の神社の特徴、さらには夏祭りを見る大阪の町人との関係などが明らかになった。

そして、いよいよシリーズは〈仏さん編〉へ突入する。お寺といえば京都や奈良が思い浮かぶところだが、大阪にもまた歴史ある寺院は多い。〈仏さん編〉の1回目となる9月講座では、太融寺や四天王寺、大坂本願寺など重要な役割を果たしてきたお寺を紹介しながら、大阪の人々とお寺や仏教



太融寺（北区）



四天王寺（天王寺区）

との関わりについて釈先生に概説してもらおう。それを受けて、講座の後半は高島先生との対談へ。お寺や庶民の信仰が神社に及ぼした影響はあるのか



など、神社・神道の観点を加えることで、お寺や仏教の特徴もより具体的になっていくはず。

「大阪とは？」「大阪人とは？」を、宗教の観点から考えるこのシリーズ。回を重ねるごとに円熟味を増していく、釈先生＆高島先生のやり取りにもどうぞご期待下さい。

募集要項

大阪の神さん、仏さん〈仏さん編〉その1

講師／釈 徹宗 高島幸次

日時／9月30日（金） 7:00PM～（開場6:30PM～）

会場／追手門学院大阪城スクエア

受講料／1,500円

定員／150名

主催／ナカノシマ大学事務局

協力／大阪21世紀協会

お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添え下さい。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
「ナカノシマ大学9月講座」受付係 FAX.06-4799-1341

※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。
※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは
こちら！→



お問い合わせ ☎06-4799-1340
（ナカノシマ大学事務局）



「天下の要! 大阪城の秘密〈初夏の陣〉」

@追手門学院 大阪城スクエア

2011年6月10日(金)

①「文学から読む、信長・秀吉が見た大坂」

講師／奥田 尚 (追手門学院大学 国際教養学部教授)

映画『プリンセス トヨトミ』のヒットなど、にわかに注目を集める大阪城。しかし、地元・大阪の人でもその歴史や変遷について知る人は少ない。そんな大阪城の秘密を明らかにするべく開催されたナカノシマ大学6月講座は、追手門学院大学との共同連続講座。追手門学院の創立120周年を記念して建てられた大阪城スクエアを、これまで何度も会場として利用させていただいたご縁によって実現したもの。窓の外に雄大に建つ錦城を眺めながら学ぶという、なんとも贅沢な講座となった。

追手門学院は、お城のすぐ近くにあった「大阪偕行社附属小学校」にそのルーツを持ち、大学でも大阪城にまつわるプロジェクトを進めるなど、大阪城との関

わりは深い。それもあって、今回の講師はいずれも追手門学院大学の先生にご登場いただいた。初回は古代から近世まで、幅広い時代の文献に基づく研究を行う奥田尚先生が、織田信長や豊臣秀吉らが大阪の地をどのように捉えていたのかを考察。大阪の歴史に造詣の深い、コーディネーター役の金井文宏さんとのセッションを含む形で講座は進んだ。

奥田先生が詳しく引用したのは織田信長の一代理記である『信長記(信長公記)』。「信長は素行が悪かったと言われますが、それは町人や商人など、武士とは違う世界の人間を家来に用いていたことの影響でしょう。つまり、流通の情報収集に熱心だったことがうかがえます」。その上で、元亀元年(1570)に信



2週間をおいて開催された2回の講座は、ほぼすべての受講者が両方の講座を受講した。

長と浄土真宗勢力との間で石山合戦が起こったのも、上町台地周辺が流通の場＝経済の拠点であり、その権益をめぐるものだったと分析した。

これを受け金井さんは、「上町台地周辺は川が縦横に流れ、天皇の即位儀礼である八十島祭の舞台でもあったように、古代から水にまつわる神様が多くの鎮座したエリア。こうした神々と流通の関係は？」と問いかけた。それに対して奥田先生は「流通は河原や浜辺といった無主の地で発達することが多い。蓮如上人が拠点を築いたことによって、信仰を持った人が米、粟、稗、布などを持ち寄り、まずは信仰に付随する形で物が集まったんです」と応答。砂州として発達してきた土地であり、信仰の集まる場所でもあったことが、大坂が流通の場として発展を遂げる背景にはあったのだ。

時代はくだり、豊臣秀吉の時代へ。奥田先生は両者の共通点を、「正統な武士らしからぬ流通や土木の知識に通じた者を重用した」点にあると見る。群雄割拠する時代にあって、戦に勝ち、領国内を安定的に統治するためには、築城や経済の知識は必須。従来の守護大名とは異なり、それらに秀でていたことが天下平定への道を駆けのぼったことの要因だったと指摘した。



奥田尚先生(左)に独自の見解を交えて質問をする金井文宏さん(右)。初回は2人のセッション形式で進んだ。



左／講演開始前、受講者に挨拶をする追手門学院大学の落合正行学長。右／すぐ目の前に大阪城を見ながら学べるとあり、実に臨場感のある講座となった。

2011年6月24日（金）

②「大坂町人的・城下町極楽ライフ」

講師／永吉雅夫（追手門学院大学 国際教養学部教授）

江戸時代、大坂の町人は、朝寝、昼寝、夜話が大好きだった？ 2週間後に行われた第2弾のナビゲーターは、同じく追手門学院大学の永吉雅夫先生。

今回は織田信長・豊臣秀吉ら為政者が見た大坂についてだったが、今回はその大坂城を下から仰ぎ見る町人たちの「城下町極楽ライフ」を探った。そこには「利にさときこと飛鳥のごとく、秤は片時も離さなかった」大坂町人たちの、意外な一面が見えてきたのだった。

永吉先生は、江戸幕府の役人として大坂の銅座へ単身赴任してきた大田南畝が、享和元年（1801）大坂に1年間滞在した際の記録や書簡に着目。それを元に江戸・大坂の比較町人論が試みられた。江戸の知人に宛てた書簡には、大坂町人の「朝寝」「昼寝」の多いこと、町の「水」が美しいことが何度も記されていた。「古雅」とも言える人の良い大坂町人の性質は、奈良・京都から続く二千年来の文化の歴史をもつ民度の高さがうかがえると感動しきりである。「武士の町・江戸から来た“あずま夷”であることを自認する南畝の目に、大坂町人たちの優雅でのんびりした生活はすべてが新鮮に映ったのでしょうか」と永吉先生は南畝の心情を推察した。

永吉先生はまた、大坂城下町の非武士



享保元年（1716）頃、大田南畝が描いた大坂の城下町の様子。画面の上が大坂城、中央が船場となる。

文化を特徴づける「^{あいたいじに}相対死」、つまり心中事件の肯定的な捉え方に注目した。実際にあった女郎・おはつと徳兵衛の心中事件をもとにした近松門左衛門の浄瑠璃『曾根崎心中』が大ヒットしたこと、心中事件の名所一覧を記した『京大坂堺心中がのこ』なる本が発行され、情報募集を呼びかける一文が添えられていることなど、心中事件すら楽しむ種とする大坂町人の根の明るさに、会場からは思わず呆れたような笑い声も漏れた。

心中事件や、そこから生まれた芝居の数は江戸と比べはるかに多いことから、人情話とお喋りが好きな大坂町人の性格が明らかに。永吉先生が「この時代の大坂に行ってみたいですね」とふともらした通り、南畝の目に映った大坂城下町の極楽ライフを体験してみたいと思った受講者は多いはずである。



さまざまな史料を精読するところから大坂町人の生活を明らかにして下さった永吉雅夫先生。

21世紀の懷徳堂プロジェクト

8月の時間割

ナカノシマ大学ほか、
中之島周辺の「学びの場」の時間割をご紹介します。



大阪カルチャークラスター!!

大阪カルチャークラスター!! (OCC!!) では、大阪にあるカフェやギャラリーなどで独自に企画・運営を行っている講座・ワークショップを一堂に集め、紹介していきます。

※大阪カルチャークラスター!! (OCC!!) では、参加店舗を募集中です。お問い合わせはsingles@do.ai (common café) まで。

6	土	8:00AM~ 10:00AM~ 1:00PM~ 3:00PM~ 5:00PM~ 7:00PM~	「中之島の水辺で水上さんぽ」奥谷 崇(水辺ガイド) 参加費:3,000円(レンタル一式+保険+協力金) ボードの上でパドルを漕いで進む水上さんぽ、バランス感覚が身に付きエクササイズにもオススメ! (約1時間)	会場 D
6	土	12:00AM~	「『心書の世界』展示会記念イベント」【出演】伊藤進・立原啓祐・旭堂南湖・樋野展子・たなかひろこ・米川浩二 参加料: 2,000円(1ドリンク付き) 東日本大震災から5か月。今、どうやってあの災害から復興するのか。生きる人すべてが立ち向かう「それぞれの復興」。	会場 J
8	月	7:30PM~ 9:00PM	「中沢新一『対称性人類学 カイエ・ソバージュ 5』を読む」江弘毅(月刊島民編集長)×山納洋(common café) 参加料:1,500円 神話の底流にある、人間と動物、生者と死者、部分と全体を同質とみなす「対称性の原理」。その今日的可能性を考える。	会場 A
13	土	5:00PM~ 7:00PM	「奥村昭夫:第二土曜勉強会」奥村昭夫(グラフィックデザイナー) 受講料:3,500円 グリコやロートのロゴ、牛乳石鹸のパッケージなどで知られるグラフィックデザイナー、奥村昭夫氏を迎えたデザイン勉強会。	会場 C
14	日	2:00PM~ 4:00PM	「夏のワインセミナー【カクテルを作ろう!】」坂東武子(「ばんどう酒店」店主) 料金:3,800円(ワイン+ タパスいろいろ) 夏のワインを楽しく、美味しく〜♪ 人が集まればワイン〜♪ ササッと作れるタパスもご紹介します♪	会場 H
19 20 21	金 土 日	2:00PM~ 3:00PM 5:00PM~ 6:00PM	「組み合わせで、オリジナルTシャツを創りましょう。」hellbent lab. トッシー(Tシャツ作家) 参加費: 3,990円(Tシャツ代含む) こちらで用意した数種類の絵を組み合わせでTシャツを創ります。自分で創ったTシャ ツで旅の思い出を作ってみませんか?	会場 G
20	土	10:00AM~ 12:00PM 2:00PM~ 4:00PM	「工作教室Coppa!!—船を作ってあそぼう!」ムラバヤシケンジ(アーティスト) 料金:1,800円 身近にある空箱や空容器を使って船を作り、浮かべて遊びましょう。ご参加お待ちしております。	会場 E
21	日	1:00PM~ 3:00PM	「針金でバスケット作り♪」はりねずみ(針金作家) 参加料:2,900円(テキスト込み) 初めての方でも、わかり易く、愉しくおしゃべりしながら、針金バスケット作りをレッスンします♪気軽に参加下さい。	会場 B
22	月	7:00PM~ 8:30PM	「落語を楽しむ〜入口遊びで、出口は文化!」桂蝶六(落語家) 受講料:2,000円(テキストつき) 声を出す、落語に学ぶ、落語を聴く。落語初心者の方対象です。普段の話し方にも役立ちますよ。	会場 F
23	火	7:30PM~ 9:00PM	「石原正一のヨミすぎ!〜古今東西名作朗読会〜」石原正一(役者・作演出家) 受講料:1,500円 古今東西の名作を参加者全員で読みまくる夜です。具体的に配役に分けて、名作文章の世界を楽しんでいただきます。	会場 A
24	水	7:00PM~ 8:30PM	「三日月豆・夜のこけだま教室」松本佳子(「三日月豆」店主) 料金: 3,800円(夜食とお茶付き) 植物+豆つたの小さくて可愛い苔玉を作ります。	会場 H
24	水	7:00PM~	「聴いて読む&洋書絵本を読む」山崎一郎(翻訳家) 参加費:1,500円(お茶付き) 今回は、『エリカ 奇跡のいのち』(R. V. ジー作、柳田邦男訳)を読む予定です。	会場 I
27	土	2:00PM~ 5:00PM	「エッフェル塔・アンティークカメラ・洋書〜パリを感じるダンボールのオブジェ〜」平尾ケイコ(立体造形作家) 参加費:2,625円(材料 費込み、税込み) パリを感じさせるエッフェル塔などをダンボールで作リ、フランス語の新聞を張ってオブジェに仕上げます。持ち物:作品を持ち帰る紙袋	会場 G
28	日	1:00PM~ 3:00PM	「銀八堂も珈琲を愉しむ会」銀八堂珈琲(自家手焙煎珈琲) 参加料:2,500円(お菓子付き) 中津カンテ グランデ・ベーカリーにも限定販売されている、こだわりの手焙煎珈琲家の銀八堂珈琲さんと一緒に珈琲を愉しみましょう。	会場 B
28	日	1:00PM~ 4:00PM	「バラ刺しゅうブローチのワークショップ」annas川畑杏奈(刺しゅう作家) 参加費:4,200円 バスケットに 入ったバラとディッシュクロス。このモチーフを好きな色で刺繍してブローチに仕立てて作品を作ります。持ち物:ボールペン	会場 G
28	日	2:30PM~ 4:00PM	「ワイン講座〜お楽しみ」N. Lee(ワインコーディネーター・ボンパール江戸堀店主) 受講料:2,000円 ムッシュ Leeのお抱えワインの中から3〜4種類お薦めをご紹介します。	会場 F

A common café ☎06-6371-1800

B 雑貨屋Biscuit café ☎090-9254-1223

C 000 (オー) ☎06-6362-5150

D 若松の浜 ※お問合せ: アクアスタジオ ☎06-6125-0550

E morrison (studio) ☎080-3113-4816

F フレイムハウス ☎06-6226-0107

G タビエスタイル ☎06-4963-7450

H ボーボー屋 ☎06-6531-7827 [http:// www.2.odn.ne.jp/ippuku-popo/](http://www.2.odn.ne.jp/ippuku-popo/)

I 貸本喫茶ちようちよぼこ <http://www.geocities.co.jp/chochobocko/>

J スタンダードブックストア ☎06-6484-2239

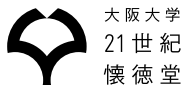


レクチャー&対話プログラム「ラボカフェ」

読書・哲学・鉄道など、毎月リアルタイムなテーマでカフェ風ワークショップを行っている、
京阪電車中之島線なにわ橋駅地下1階の「アートエリアB1」。8月のラインアップはこんな感じ。

3	水	7:00PM～ 9:00PM	中之島哲学コレージュ／新・哲学セミナー「ニーチェ『ツラトウストラはこう言った』を読もう(3)」 定員:50名程度 ガイドとともに、『ツラトウストラはこう言った』(岩波文庫)を読みませんか。今回は、第二部の後半をめくりましょう。
4	木	7:00PM～ 9:00PM	オルタナティブカフェ／「森達也さんとの対話」 定員:50名程度 作家／映画監督の森達也氏をゲストに迎え、最近の関心事やメディアリテラシー、さらに身の回りの“制度”等について、皆さんと対話したいと思います。 ゲスト／森達也(作家／映画監督)
10	水	7:00PM～ 9:00PM	中之島哲学コレージュ／哲学カフェ「身ぶりは何を語るのか？」 定員:50名程度 普段はあまり考えず過ごしている「身ぶり」について、すこし立ち止まってじっくりと話し合ってみませんか？
23	火	7:00PM～ 9:00PM	マンガカフェ 12「お盆を過ぎてお坊さんマンガ」 定員:50名程度 お盆も一段落したこの時期、リアルお坊さんも交えて、仏教や僧侶とマンガの関係について話し合います。 ゲスト／杜康潤(マンガ家:マンガ「坊主 DAYS」作者)
26	金	7:00PM～ 9:00PM	中之島哲学コレージュ／哲学セミナー「心を読む?言語的／非言語的コミュニケーション」 定員:50名程度 私たちは言葉だけでなく、さまざまなものを用いて他者とのやり取りを行っています。やり取りを支える「働き」について考えたいと思います。
27	土	2:00PM～ 4:30PM	ワークショップデザイナー・カフェ「三百人(!?)一首 ワorkshopデザイナーズかるた!!」 定員:30名程度 ワークショップデザイナーとは何でしょうか。その命題に「かるたとり」を通じて考えてみよう、というのが今回の試みです。

会場／アートエリアB1 参加費／全て無料 当日先着順・入退場自由 問い合わせ／[カフェの内容について]大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD)
☎06-6850-6632 [場所などについて] アートエリアB1 ☎06-6226-4006 ※内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



大阪大学21世紀懐徳堂

●Handai-Asahi 中之島塾 大阪大学が朝日カルチャーセンターと共催しているセミナーです。

8/20	土	1:30PM～ 3:00PM	「古代語の謎を解く」蜂矢真郷(大阪大学名誉教授・中部大学教授) 受講料 1,575円 古代のことばについて、形や意味を変えながら現代でも用いられるものを中心に、成り立ちや由来を考えます。国語学の語構成を研究する立場から、語の表すところに迫ります。
9/3・10	土	10:30AM～ 12:00AM	「海と貿易がつくった日本史～最新の歴史教育から～」桃木至朗(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授) 受講料 3,150円(全2回) 歴史教育について議論が続いていますが、困るのは大人たちが自分の受けた教育内容が変わっていないという前提で議論すること。「わかる歴史・面白い歴史・役に立つ歴史」の最先端をご紹介します。
9/3・10	土	1:30PM～ 3:00PM	「脳のはたらきと記憶のしくみ」小倉明彦(大阪大学大学院生命機能研究科教授) 受講料 3,150円(全2回) 脳の働きの一例として、記憶のしくみを解説します。1回目は、現時点でわかっていることについて。2回目は、まだわかっていないことについて、仮説を立てます。

会場／大阪大学中之島センター インターネット、電話、FAXか、朝日カルチャーセンターの窓口でお申し込みください。http://www.asahiculture.com/nakanoshima/index.html ☎06-6222-5224 FAX06-6222-5221 問い合わせ／朝日カルチャーセンター(中之島) ☎06-6222-5224

●大阪大学×大阪ガス「アカデミックキング」『専門分野の講義』&『料理実習』で“学問するココロ”が実践的に身につきます。

9/14	水	6:30PM～ 9:00PM	「食いしんば歴史学者の世界史概論～シンデレラの馬車に乗れなかったチャングム」桃木至朗(大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授) 16～17世紀の「大航海時代」以後の、グローバルな交流による食べ物の変化を手がかりに、アジアと日本のくらしの歴史を、最新の高校教科書(『新詳世界史B(帝国書院)』)の著者がお話します。課題料理／アジア料理で学食メニュー
-------------	---	-------------------	---

会場／大阪ガススクッキングスクール千里 受講料／1,500円 申込受付期間／8月8日(月)～8月17日(水)(web申込受付は8月8日(月)0:00AM～、電話による受付は8月10日(水)11:00AM～) 申込多数の場合は抽選の上、当選者にはのみ8月18日(木)にご案内を発送します。申し込み・問い合わせ／大阪ガススクッキングスクール千里 ☎06-6871-8561 http://www.og-cookingschool.com/

●大阪大学21世紀懐徳堂i-spot講座 P16に情報あり。

麻酔科医の仕事は、手術の患者に麻酔をかけることである。直接、治療はしないが、手術を助ける縁の下で力持ちといえるだろう。

麻酔ははじめと終わりが危険で気が抜けないが、手術中は患者の状態が落ち着いていれば、比較的ヒマである。それでいろいろと観察するようになる。

たとえば、手術をのぞき込んでみると、電気メスで切るときのおいが、臓器によってちがうのに気づく。いちばんいいにおいがするのは甲状腺で、香ばしい上に脂が乗っている感じだ。タレがあれば、思わず箸を伸ばしたくなりそう。逆には臭いのは前立腺で、小便で煮染めたパンツのようなにおいがする。

肝臓は焼肉のレバーと同じにおいがし、見た目も牛や鶏のレバーとそっくりなので、ひよことして焼き肉店で出されても、たぶんわからないだろう。小腸も牛のホルモンと同じく甘いにおいがする。

人間の筋肉は霜降りではなく、赤身ばかりなので、焦げ臭いにおいししくない。腸間膜は脂肪がべっとりついていて、タンパク質がないせい、あまりいいにおいはいない。

麻酔科は外科系のすべての科の麻酔をかけるので、各科の性格やちがいがわかる。

手術室でいちばん威勢がいいのは、私の印象では心臓外科だった。手術のときに人工心臓という大がかりな機械を使うし、手術室に入るス

タッフの数も多い。何より心臓という生命に直結する臓器を扱っているという自負が、彼らをハイにさせていたように思う。

次に幅を利かせていたのは、消化器外科である。消化器外科はがんの手術が多いので、やはり命を救うてる感が前面に出ていた。手術の件数も多いし、心臓外科同様、技術的にも高度なので、両科ともメジャー特有の活力があった（平たく言えば、偉そうにしていたということ）。

整形外科は骨と関節の手術がもっぱらで、職人気質の雰囲気があった。使う器具も、電動ノコギリやノミ、ハンマーなど、ほかの科では使わないものが多く、やや上品な大玉の棟梁みたいな感じだった。

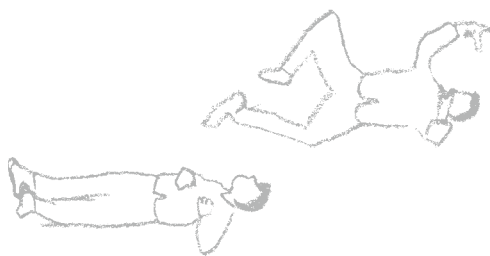
産婦人科の帝王切開は、母親にかけた麻酔が

赤ちゃんに移らないようにするため、大急ぎで手術をする。腹部を切つて、子宮から胎児を取り出すまで、わずから5分ということもあった。

その素早さは心臓やがんの手術では考えられない荒っぽさだが、腕のいい料理人のようでもあった（赤ちゃんを取り出したあとは、ていねいに縫うので、手術全体は1時間ほどかかる）。

眼科の手術は、患者の瞳孔を開かせるために、手術室を暗室のように暗くする。麻酔科医はふつうは患者の頭側にいるが、眼科の手術ではじやまなので、足側に座る。部屋は暗いし、手術も見えないので、睡魔と闘うのに苦労した。手術件数の少ない耳鼻科や皮膚科は心なし遠慮気味で、顕微鏡を使う脳外科は、どこことなく学者肌を感じた。

中之島ふら青春記の久坂部羊 〈研修医生活麻酔科編Ⅱ〉 縁の下の観察者



麻酔科医は、手術中の医師の会話もよく聞いている。私が研修医のときには、心臓外科の次期教授のポストを狙う3人の医師が、激しくしのぎを削っていた。それぞれが助手として教授の手術につくと、決まってその場にはいないライバルの悪口を吹き込んでいたのが印象的だ。

心臓外科はエリート集団なので、その中で生き残っていくのはたいへんだっただろう。私が麻酔科の当直をしていたとき、昼間に教授が執刀した患者が出血して、再手術となった。手術がはじまったのは午前2時過ぎ。それでも教授が手術室に現れると、医局員のほぼ全員が手術室に集まっていた。教授が執刀するときにはいまいとまずいというわけだ。だから、医師たちは自分の存在がわかるように、それとなく教授の視界を横切ったりしていた。そればかりか、教授に聞こえよがしに、「○○先生はいないね」などとつぶやき、その場にはいない医師を教授に印象づけようとしていた。

手術中の会話には、とても患者に聞かせられないものもあった。プロ野球の勝敗予想やゴルフの話、買った車の自慢など、真剣に手術をしているのかと、疑いたくなるほどだ。

もっとひどいのは、「これはどうせダメだな」とか「もうこれくらいでいいやろ」などという患者を見捨てるような発言だ。いくら患者の意識がないとはいえ、なぜそんな本音が洩れるのか。もし、患者が自分の家族でも、同じように

言うのか。そう思ったが、がんの手術で転移がはつきりしているリンパ節を、「これは無理や」と切除しないこともあった。

がんの手術では、腫瘍が大きすぎたり、周囲との癒着が強すぎる場合は、「インオペ（inoperaの略）」といって手術不能の判断を下すことがある。今は手術前の検査の精度が上がったので減っているが、当時は腹を開けてみないとわからない症例が少なかった。

外科医たちはがんの状態を見ながら、インオペにすべきか、切除できるかをあれこれ議論する。私は麻酔をかけながら、複雑な気持ちだった。患者はきつとがんを取り除いてもらえると信じて、手術を受ける決心をしたにちがいない。それをインオペにしたら、みすみす助かるチャンスを失ってしまう。しかし、無理な手術をすれば、手術や合併症で患者が死ぬ危険もある。どちらがいいのか。

このむずかしい判断を、純粹に医学的に決めているのなら納得できるが、必ずしもそうではない気がしたので疑問を感じた。

たとえば、ベテランの医師がインオペの判断を下しているのに、手術をやりたいくだけ仕方がない若手が、「引き下がる理由はどこにもない」などと言って、強引に大手術に取りかかることもあった。それでがんは取れるが、手術で臓器

を失った分、体力が落ちて、再発が早まる危険性もある。そんな患者には、勇気ある撤退のほうがいいはずだ。

「外科医は患者を救うのが務め」などと恰好のいいことを言いながら、結局は自分の手術経験を増やしたいだけじゃないのかと思わざるを得ない外科医もいた。

麻酔科医はいわば傍観者だから、批判的な目を持ちやすい。私は研修を終えたあと2年間、麻酔科に在籍し、その後、ふたたび外科にもどった。そして自分で手術をするようになって、自分が感じていた批判の半分ほどは、傍観者故のものだったと反省した。

転移がわかっていてリンパ節でも、場所によっては切除そのものが大出血の危険があるし、無理に癒着を剥がすと、患者に致命的な危険が及ぶこともある。手術中の雑談も、重要な場面では困るが、面倒なだけのルーチン処置のときなどは、多少、気分転換をしたほうがリラックスできる場合がある。

「批判する者はまず実践してみよ」という言葉があるが、麻酔科から外科にもどったときほど、この言葉が身にしみたことはない。それは今でも、政府や官僚に対する一方的な批判を耳にするたびに感じることもある。

くさかべよう 1955年生まれ。大阪大学医学部卒業。

麻酔医、外科医、在外公館での医務官としても勤務した後、2003年『廃用身』（幻冬舎文庫）でデビュー。

現代医療への提言と生きること・死ぬことについて考える

契機に満ちた作風が人気を呼び『破裂』は10万部を超えるヒットに。

「先月、京都国立近代美術館で開かれていた「青木繁展」を鑑賞。怪作『海の幸』と四度目の遭遇。

会場で『美術研究作品資料・海の幸』を入手。透過近赤外線画像、反射近赤外線画像で新たな発見あり!!」



淀屋橋odona アイ・スポット通信

2011年8月



淀屋橋駅直結の複合型商業施設「淀屋橋odona」の2階にある情報発信スペース「アイ・スポット」では、大阪の歴史に関する展示が無料で見られるほか、月刊島民をはじめとするフリーペーパーなど街の情報も集まっています。さらに、毎月さまざまなミニセミナーも開催。会社帰りに、街遊びのついでに、ぜひお立ち寄りください！

展示

8/1(月)～8/14(日) 大阪市中央区役所・中央消防署共催 「東日本大震災の被災地支援パネル展」

東日本大震災を受けて、大阪市では義援金の受付、救援物資の受付、被災地での救援活動など、全力で支援しており、このような被災地支援の動きの一部を写真パネルなどにより紹介します。今後の被害を最小限にするためにも、この機会に防災に対する意識を見つめ直してみませんか。

派遣された職員による防災セミナーも同時開催！

8/8(月) 6:30PM～7:30PM 釜石市に残した教訓「津波から命を守る」

釜石市は、ハード、ソフト両面で考えうる最高の対地震津波防災都市でした。今回の東日本大震災において、釜石市の防災対策は、減災に大いに役立ちました。しかし、津波に備えていた釜石でさえ多くの人が津波の犠牲者となりました。避難できなかった避難しなかった人の心理について迫ります。●予約不要・当日先着順

8/9(火) 6:30PM～7:30PM 釜石市に残した教訓「子ども犠牲者ゼロ 釜石の奇跡」

東日本大震災は、東北地方の沿岸部に壊滅的な被害をもたらした死者行方不明者が2万人以上の大災害となりました。津波に備えていた釜石市でも1300人の犠牲者が出ましたが、釜石市の公立小中学校14校・約3000人の児童生徒の犠牲者は、ゼロでした。3月11日に釜石東中学校の中学生の行動から「釜石の奇跡」と呼ばれる子どもの命を守った防災教育・防災訓練を紹介します。●予約不要・当日先着順

トーク

8/22(月) 7:00PM～9:00PM 御堂筋Talkin' About vol.8 「大阪の夏祭りをふりかえる」

ナビゲーター／生駒伸夫(生駒ビルディング)・小川清(平岡珈琲店)・山納洋(大阪ガス)

毎回、一つのテーマについて興味・関心を持つ人たちが集まり自語り合うサロン「御堂筋Talkin' About」。8月のテーマは「大阪の夏祭り」です。「愛染さんに始まり、住吉さんに終わる」と言われる大阪では、7月に「夏越の祓い」をルーツにした祭りが各所で催されます。今回はその魅力について大いに語っていただきます。写真、動画(DVD)などの持ち込みも大歓迎。ふるってご参加ください。●予約不要・当日先着順



セミナー

大阪大学 21世紀懐徳堂 i-spot講座



8/3(水) 1:00PM～4:00PM

「コンピュータで動く ふしぎなおもちゃづくり」

森 秀樹(大阪大学大学院人間科学研究科助教)

電池で動く小さなコンピュータとモータやセンサ、廃材や身近な材料を使って、プログラムで動くおもちゃを手作りします。家電製品から携帯電話、おもちゃまで、私たちはたくさんのコンピュータが埋め込まれた「モノ」に囲まれながら生活しています。今回は、実際にコンピュータを埋め込んだ作品をつくりながら、コンピュータについての理解を深めていきます。定員：小学生とその親12組

8/26(金) 6:30PM～8:00PM

「江戸時代淀川の治水と水害」

村田路人(大阪大学大学院文学研究科教授)

江戸時代、淀川や大和川などの畿内の大河川は、前代とは較べものにならない高度な治水システムが構築されていた。もちろん、この治水システムは万全ではなく、沿岸地域は度々大水害に見舞われた。講座では、淀川の治水システムの内容と問題点、また、享和2年(1802)の大水害に代表される淀川水害の実態について取り上げる。定員：30名

- 受講料無料。各回実施日の1カ月前から申し込み受付(先着順)を開始します。
- お申し込みは、講座名・受講者ご本人のお名前・電話番号を、電話かメール、FAXでお知らせ下さい。
- 定員に余裕がある場合は、直接会場にて、当日申込みをお受けします。

アイ・スポット 大阪市中央区今橋4-1-1 淀屋橋odona2階 TEL&FAX. 06-4866-6803 E-MAIL. i-spot@voice.ocn.ne.jp

開館時間：11:00AM～9:00PM(土・日・祝～8:00PM) 年末年始休 地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅10番出口直結 京阪本線「淀屋橋」駅徒歩1分
http://nakano-shima-univ.com/site/ispot/

申し込みも、
セミナーレポートも、
島民バックナンバーも…

ナカノシマ大学ウェブサイトで!



ナカノシマ大学のウェブサイトでは、毎月の講座の申し込みだけでなく、楽しめるコンテンツが満載。これまでに開催された講座の様子がわかる「セミナーレポート」のページのほか、島民のバックナンバーをダウンロードできるページもあり。島民、ナカノシマ大学のことならなんでも、ナカノシマ大学ウェブサイトどうぞ。

- 講座のお申し込み ●バックナンバーのダウンロード
- 過去の講座のレポート ●中之島の遊び方紹介

iPadでも見られます!

『月刊島民』がiPad用のアプリとして登場! iTunesストアで『月刊島民』と検索し、アプリをダウンロードするだけ。無料で簡単に手に入れることができます。毎月1日前後に最新号をリリースします。

京

阪沿線のお盆の行事としては、8月16日に見られる京都の「五山送り火」が有名だが、ここ中之島でもご先祖様をしのぶ行事が、地元の人たちの手でとりおこなわれていた。

8月15日の夕方。盆休みの静けさに包まれたオフィス街、なにわ筋に架かる玉江橋南詰に、千人を超える人びとが集まって来る。手にはろうそくと線香、御仏壇へのお供物。堂島川にてご先祖様を供養する「精霊流し」の光景だ。

「僕らが子どもの頃は、桶に仏さんへのお供え物を入れて、ダイビルの前から堂島川に流してたよ」と思い出を語ってくれたのは、中之島連合振興町会の役員を務めるベテラン島民・粕谷澄さん（82）。しかし、時代とともに川や海が汚れる危険性があるとして、この風習はやがて大阪市環境局が船で回収する方法に代わった。当初は田蓑橋の下に大きな船をつけて、お供え物を集めていたという。さらに、20年ほど前からは「宗教行事に役所が関わるのはいかなものか」という声が挙がり、



精霊流しについては町内会までファックス06-6445-8740でお問い合わせを。8月15日（月）当日のお手伝い（3:00PM～9:00PM頃）をはじめ、中之島連合振興町会ではやる気のあるボランティアスタッフを募集中。まずはファックスにて連絡を。



中之島にある「喫茶ボア」で開かれる月1回の町内会の集まりで「今年は浴衣で集まろうか」と盛り上がる役員さんたち。

島民たちが守る、ご先祖供養の行事があつた。

船による回収も中止に。精霊流しは存続の危機にさらされていた。

そこで立ち上がったのが島民たち。地元町会が、ろうそく台の設置や交通整理から、市の清掃車の手配まで、お世話役に名乗りを上げ、伝統行事は続けられることとなった。

今では豊中や吹田に移り住んだ元島民の里帰りの機会になっていたり、大切な人を亡くし初盆で涙を流す女性に「お辛かったんですね」と地元の人が

優しく話しかける一場面も。中之島という場所を介しての人のつながりを強く感じられる風物詩となっているという。

町内会の会合では「お供え物を軽トラックで回収するのはやっぱり味気ないから、船を復活させたい」「川に紙灯籠を浮かべたい」「せっかく国際企業が集まる中之島だから、各国語でもこの風習を紹介したい」など色々な夢のある意見が飛び出す、問題は人手

だとか。平均年齢80歳を超えた町会の役員たちは、新しいマンション住民や周辺企業に勤める人たちへ呼びかけ、「一緒にやりませんか」とボランティアスタッフを募集している。会場設営だけでなく、翻訳やパンフレットのデザイン、新たなアイデアの提供など参加方法は様々。10年、20年後のシマの伝統行事を守るのは、今、『月刊島民』でこの記事を読んだ貴方なのかもしれない。

トウニン月報

2011年8月1日発行

中之島の情報満載のウェブスタイルがリニューアル!



中之島の地権者によって組織される「中之島まちみらい協議会」が運営するウェブスタイル「中之島スタイル.com」がリニューアルオープンした。中之島スタイル.comは、イベントやお店の情報、さらには

中之島の歴史まで、地域情報が多岐にわたるウェブスタイル。以前よりも写真による紹介が増え、現在開催中のイベント情報なども一目で分かるようになった。

「中之島スタイル.com」は、最新のイベント情報や実際に歩いた様子をレポートする「中之島散策」、さまざまなジャンルの飲食店情報が見られる「気になるお店」など、中之島へ遊びに出かける前に



「ビルMAP」ではどこに何が建っているのか一目で分かる。



江戸～昭和の中之島について詳述する「中之島今昔物語」。



「中之島散策」ではカフェやフラワークショップも紹介。

中之島スタイル.com

そのほか、中之島にある貸し会議室・ホールの一覧や、現在進行中の開発プロジェクトの内容がわかるページ、またこれから中之島がどのような発展を遂げていくのかなども知ることができるページもあり、中之島のことを隅々まで紹介している。
<http://nakanoshima-style.com>

チェックしておくに役に立つページ。
また、「中之島を知る」は、文学や適塾などテーマごとに中之島の歴史をたどる「中之島の歴史」、江戸から昭和まで年代ごとのシマの様子がわかる「中之島今昔物語」など、街の移り変わりや土地に刻まれた物語を学ぶことができる。(大迫力・本誌)

夏になると行きたくなるビアガーデン。川が近い中之島は涼しくて景色もよく、屋外でビールを飲むにはぴったりのエリアだろう。そんな中、大川をすぐ目の前に望み、オフィス街の夜景も楽しめる、あって人気なのが、京阪シテイモールの屋上ビアガーデン。京阪電車天満橋駅直結という便利さもあり、近所で働く人々には毎年おなじみとなっている。

ルーフトップバー-OLI

ピザやパスタをはじめ、イタリアンを中心に多彩なフードメニューが。
時間／5:30PM～9:30PM (LO)
料金／飲み放題 (90分) 1名1,500円など
※+800円でイタリア産スパークリングワインも飲み放題
予約・問い合わせ ☎06-6940-2876

ザ オリエンタル ヴィレッジ ビアガーデン

時間／4:00PM～10:30PM (LO) ※フードは～10:00PM (LO)
料金／オリエンタルBBQセット2,400円、飲み放題 (90分) 1,200円
予約・問い合わせ ☎06-4794-9227

さまざまな料理が揃うほか、飲み放題プランなども充実している。夏の暑いうちこそ、ぜひ足を運んでほしい。(大迫力・本誌)



[ルーフトップバー-OLI]



[ザ オリエンタル ヴィレッジ ビアガーデン]

爽快！京阪シテイモールの屋上ビアガーデン



Costumes: Marie-Chantal Vaillancourt
© 2010, 2011 Fuji Television

クーザ

公演期間／8月4日(木)～11月6日(日)
会場／中之島ビッグトップ
(大阪・中之島 特設会場)
入場料／S席:12,000円(8,000円)、
A席:9,500円(6,000円)、
B席・車イス席:6,000円(4,000円)
※カッコ内は子供料金
(3歳～小学生。3歳未満でも座席が
必要な場合は子供券をお求め下さい)
※土・日・祝はそれぞれ+1,000円
問い合わせ／
ダイハツ クーザ大阪公演事務局
☎06-7732-8890
(10:00AM～7:00PM)
●詳しくは<http://www.ktv.jp/kooza/>



中央公会堂の 館内見学ツアー

大阪市中央公会堂 館内ガイドツアー

開催日時／9月27日(火)・11月22日(火)
①10:30AM～11:30AM
②1:30PM～2:30PM
③3:30PM～4:30PM(各日3回・計6回)
定員／各回約50名
参加費／無料
応募方法／往復ハガキに必要事項をご記入
の上、お申込みください。
【往信面】「ガイドツアー参加希望」と明記し、
①名前(フリガナ) ②郵便番号・住所 ③
電話番号 ④参加希望の日と時間 ⑤参加人
数(1枚につき4名まで)
【返信面】①お申込者の住所 ②お名前
【応募先】〒530-0005 大阪市北区中之
島1-1-27 大阪市中央公会堂 館内ガイド
ツアーG係
【応募締切】9月分:9月2日(金)必着／11
月分:11月4日(金)必着
※応募者多数の場合は抽選。抽選結果は
参加証もしくは落選通知の発送をもって代
えさせていただきます。

すっかり中之島の秋の恒例
行事となった、大阪市中央公
会堂の館内見学ツアーが今年
も開催される。中央公会堂の
スタッフが自ら案内役を務め
るこのガイドツアーでは、大
集会室・中集会室・特別室な
ど、ふだんはなかなか観られな
い部屋も開放され歴史や装飾
などの見どころ紹介も聞くこ
とができる。毎回、抽選にな
るほどの人気ぶりだが、大阪
のシンボルとも言われる建築
の内部を隅々まで観られるの
はめったにない貴重な機会。
幸運を祈りながら、応募して
みよう。(大迫力・本誌)

「クーザ」大阪公演が いよいよ幕開け

東京での公演を大盛況のう
ちに終え、いよいよ「クーザ」
が大阪・中之島にやってくる。
日本でもすっかりおなじみと
なったエンターテインメント

集団「シルク・ド
ゥ・ソレイユ」によるステー
ジは、人間の身体能力の限界
に挑むパフォーマンスの数々
もさることながら、ストーリー
性や音楽、衣装、照明など、
細部まで見どころに溢れた総
合芸術であると評される。
「クーザ」は、主人公の少年・
インセントが、
自分のものに
届いた大きな



「ECO
SOPHIA」にはエ
コトと建築。」「ECO
SOPHIA」にはエ
コトと建築。」「ECO
SOPHIA」にはエ

作品と融合して新たな空間領

日本各地で開催されている
アートの祭典「ビエンナーレ」。
ビエンナーレとは2年に1度
開催される美術展覧会で(ち
なみに3年に1度だと「トリ
エンナーレ」、堂島でも現在
「堂島リバービエンナーレ
2011」が開催中だ。2回
目となる今回のテーマは「EC

堂島リバービエンナーレ 開催中!

星という意味がこめられ、会
場全体にわたって未来に向け
ての地球のヴィジョン、新た
な自然観が表現されるという。
出展者のラインアップを見
れば、杉本博司、隈研吾、磯
崎新など豪華。また、会場内
に創り出される3つの圏(ス
フィア)において、坂本龍一
氏が書き下ろした音楽が流れ

域を生み出していく。アーテ
ィスティック・ディレクター
である青森県立美術館・チー
フキュレーターの飯田高善氏
は、今回のビエンナーレの目
的を「建築家/アーティスト
と社会をつなぐことで、環境
と社会の諸関係、人間的主観
性という三つのエコロジー的
領域への第一歩を表現するこ
と」と語っている。(大迫力・
本誌)



杉本博司

写真作品「海景」シリーズを映像化した作品を、建築家・永
山祐子の空間設計のもと、生命の起源である水をテーマと
した「水圏」のエリアに展示する。

©Hiroshi Sugimoto



左/隈研吾「ceramicCLOUD」

右/「堂島リバービエンナーレ2011」のイメージ画像。隈
研吾は、森万里子の作品展示空間の設計を担当している。
photographer: Marco Intriore

堂島リバービエンナーレ2011 「ECOSOPHIA」～アートと建築～

期間／8月21日(日)まで 会期中無休
時間／11:00AM～8:00PM(入館～7:30PM)
会場／堂島リバーフォーラム
入場料／1,000円
(高校・大学生700円、小・中学生500円)

京阪沿線 島民の部屋から。

取材・文・写真／李宗和（本誌）



Data 竣工は2006年。この場所は以前、真由美さんの祖父母が住んでいた。1階はリビング、ダイニングキッチン、ピアノ室で構成。2階は子供部屋、寝室、そしてなんとお風呂。「1階にこだわりを詰め込んだら入りきらなくなって」。馬場さん宅は、「おしゃれな家」として、界隈でも有名なのだそう。

北欧住宅は構造材が厚く太いのが特徴で断熱性が抜群。加えて家の中は全室空調。クーラー特有の冷たさはなく、涼しく澄んだ空気が溢れている。ご夫婦は機能性にもとことんこだわった。



お二人は高校の同級生。大学生と高校生のお子さんを持つ。雅也さんは生まれも育ちも寝屋川市。「山手のような落ち着いた街の雰囲気は昔から変わりません。そこがいいですね。最近は香里園駅周辺の再開発によって整備されてきてますし、これからも楽しみです」。

香里園は、京阪沿線でも古くから住みよい街として知られている。駅の東側は丘陵状の住宅地が広がっていて、中には「お屋敷」と呼ばれるような家もちらほらある。聖母女学院や成田山不動尊といった歴史や伝統を感じさせるスポットも点在する文教地区で、緑が青々と茂る並木通りを歩いて通う女子学生が羨ましく思えてしまう。駅前にはタワーマンションもオープンし、住宅地としての奥行きはさらに深くなりつつある。

馬場雅也さん・真由美さんご夫婦のご自宅も、そんな香里園東側の住宅地の一角。お二人の住まいへのこだわりは、玄関の扉を開けた瞬間から感じられる。吹き抜けになったリビング、その奥には遠くからでも目を引くアイランドキッチン。木材をあしらった天井や、花柄の壁紙が温かみを演出している。実はこの家の間取りや内装は、ほとんど馬場さんご夫婦のアイデアだという。

広告会社の社長である雅也さんと、ご自宅ピアノを教えている真由美さんの共通の趣味は「家を見る」こと。結婚する前からよく住宅展示場に足を運んでいたのだそう。いろいろな家を見学してきたご夫婦が目指したのは、すべての希望を反映させた夢の家。「わがままにこたえてくれる住宅メーカーさんを探すのに苦労して。『勘弁して

香里園

馬場雅也さん・真由美さん

過ごしやすさと趣味を両立させる、家好き夫婦の「夢の家」。



左／花の形をした手洗いのある、遊び心溢れる円筒形のトイレ。中／キッチンから続くユーティリティースペース。床に貼られたタイルは色目の位置までご夫婦で考えた。右／ピアノ室のスペース。厚い壁は防音効果もある。加えて、絨毯を敷き音が響かない工夫もされている。近隣への心遣いも万全。

ください」と逃げ出す営業さんもいたくらいです(笑)」とお二人。そんな中、家好き夫婦の期待に応えてくれる住宅メーカーと出会い、1年半という構想期間を経て完成に至った。

自転車、車、マリネレジャーなどたくさんのお楽しみを持つ雅也さんは、ものをいじるため作業場と大きな収納ロフトを備えた駐車場を提案。「趣味にも気合が入り、北浜に会社があるんですが、たまに自転車で行くようになりましたよ。淀川の河川敷を走れば40分くらいで行けるんです」。一方、真由美



家の中からも通じる駐車場は、ご主人の趣味を満喫するスペースを兼ねる。

さんはピアノを置くための部屋にこだわった。デイズニー映画に登場してきそうな愛らしい空間は、「子供たちも大喜び。習っていない子も一緒に見に来たりして(笑)」と大評判だ。

地元の高校で出会ったお二人曰く「気がつけばずっと寝屋川市内に住んでいる」。静かで暮らしやすい立地と、好きなものに囲まれた生活ならば、それもうなずける。

うちの近所のお気に入り。



VELO CAFE

今年3月に香里ヶ丘にオープンした商業施設【CO NOBA 香里ヶ丘】内にある、ロハスをテーマにしたカフェ。店内には工具が置かれた自転車修理スペースが併設。サイクリングの休憩スポットとして利用する人も多く、自転車が趣味の雅也さんもそんな一人。東大農学博士が考案したというキーマカレー800円をはじめ、美味で珍しいフードも。ご夫婦お気に入りの食事スポットでもある。☎072-808-8266 9:00AM～9:00PM 不定休

夏の夕暮れ、堂島浜の一番。

節電が叫ばれる今夏、涼を求めて大川端へ出るのが大阪人の心得であろう。講談で有名な『浪花侠客伝』の中に登場する二人の任侠力士・放駒長吉と濡髪長五郎。その内の濡髪長五郎登場の場面は、夏の夕刻、納涼のために人々がそぞろ出てきた堂島川北河岸・肥前鍋島侯の大坂蔵屋敷前の浜。通称「鍋島の浜」から始まる。

「やつぱり長五郎は強いわ」「誰も敵わん」と子供たちは一様に褒めそやす。デブプリ太ったその長五郎、年は十五、大坂相撲の力士・荒石斧右衛門の一人息子。「どんなもんや」と大きな腹を一層せり出し自慢した。が、最前から気になっていたのは、長五郎の相撲をジッと見ていた一人の少年がいたこと。彼は鍋島藩の浪人・山田右近の一人息

子・金之助。歳は同じ十五。行儀良く砂に正座して長五郎の相撲を見ていた。「オイ、お前、相撲したいんやろ？来い、相手になつた」と長五郎。「いえ、父に叱られます」「ワイが言う



鍋島藩の跡地。かつては、この場所に藩主の邸宅があった。現在は、大阪府立歴史民俗資料館が建っている。

てるのになんや？」と息巻いた。周囲で川風を楽しんでいた者たちも、面白いことができそうだと「やれやれつ」と囁し立てた。

「では、父には内緒に願います」と、着物を脱いだ金之助の体を見て、野次馬たちは歓声を上げた。引き締まった

良い体をしている。「これはおもしろい勝負になりそうですね」「どっちに賭けます？」なんて輩も出てくる。長五郎は「チェッ」と舌打ちして、「ワイの力を見せたる」と挑みかかった。

が、事件は起こった。金之助が長五郎を投げ飛ばしたのだが、浜に脱ぎ捨ててあった下駄に腹が当たり、余程打ち所が良くなかったのかそのまま絶命してしまつたのだ。

騒然となる鍋島の浜へ駆け付けた兩人の親。いきり立ったのは浪人・山田右近。「あれほど相撲をしてはならんと言つたのを破つたのは許せぬ。この場で成敗いたすつ」と、大勢の中、大刀を振り上げた。金之助は今はいくまどと正座をして堂島川へ頭を垂れた。今しも砂が朱に染まるか……という時

に「待ってくれ」と入つたのが亡くなつた長五郎の親・力士の荒石。「大事な跡継ぎを亡くしました。どうか彼を長五郎としてワシに譲つてはくれんか？ 相撲取りにしますわい」。ここから男前にして義侠心に富んだ力士・濡髪長五郎が誕生することになるのである。

浜に人々が集つていた頃のお話だが、今年は再現されますか？ イエイエ、事件ではなく、人出のことでございます。鍋島の浜は只今の大阪地裁前なので、静粛に願いますぞ。

きょうどう・なんかい
1964年、兵庫県加古川市生まれ。大阪大学卒業前（1989年）に三代目旭堂南海に弟子入り。1998年大阪市より「咲くやこの花賞」授賞。得意ネタに「太閤記」「難波戦記」「浪花侠客伝」「天満宮参詣記」など。

大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅/京阪シティモール/京阪モール/デリスタ天満橋店/ホテル京阪天満橋/ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 【書店】旭屋書店本店/旭屋書店梅田地下街店/旭屋書店堂島地下街店/カベラ書店/紀伊国屋書店本町店/ジュンク堂書店大阪本店/ジュンク堂書店梅田ヒルトンプラザ店/ジュンク堂書店天満橋店/MARUZEN&ジュンク堂書店梅田店/スタンダードブックストア/ブックスタジオ/天神塚書店大江橋店/ブックファースト梅田店/ブックファースト淀屋橋店/文教堂書店淀屋橋店/隆祥館書店【公共施設・大学関連施設など】アイススポット/朝日カルチャーセンター/味の素 食のライブラリー/ABC朝日放送/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪市中央公会堂/大阪市立中央図書館/大阪市役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府立中之島図書館/大阪フィルハーモニー会館/大阪ボランティア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪城スクエア/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大阪リバーサイドキャンパス/国立国際美術館/CITY NAIL'Sインターナショナルスクール/芝川ビル/市立住まい情報センター/中央電気倶楽部/ホテルNCB/メビック扇町/ろうきんギャラリー心斎橋
- 【店舗・医院など】アリアスカ マーブルトレ/アンドール 本町本店/上町貸自転車/Ultra 2nd/江戸前製料理 志津可/EXPO CAFE/MJB珈琲店/大西洋服店/OOO(オー)/カセッタ/喫茶カンターロ/喫茶SAWA/グランドスイート中之島/黒門さかえ/コモカフェ/サトウ花店 中之島本店/ザ・メロディ/じろう亭/Girond's JR/心斎橋山田兄弟歯科/住友病院/セブンイレブン大阪証券取引所店/タビエスタイル/ティンハウスジカ/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャー/パストラーレ/花かつ/BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマニアカフェ/フレインハウス/ミニジロー/宮崎歯科/やきとり ばかや/吉田理容所/ラ・クッカーニャ/L&S LESTON
- 大阪市内その他 【書店】伊勢屋書店/大阪書店/紀伊国屋書店 京橋店/なんばミヤタ/福島書店/柳々堂 【公共施設・大学関連施設など】大阪市社会福祉研修・情報センター/大阪市立図書館 【店舗・医院など】あじさい/アートアンドクラフト/欧風食堂 ミリパール/大阪市信用金庫 江戸堀支店/御船かもめ/Calo Bookshop and cafe/写真とプリント社/鳥かごキッチン/ネイルサロン スワン/バルビコ/ホステル64オサカ/MANGUEIRA/Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂 フレスト店/Books 呼文堂/水嶋書房 千早はもと店/水嶋書房 千早はもと駅前店/大阪狭山市立図書館/大阪大学企画広報・社会学連携事務局/大阪大学 21世紀懐徳堂/大阪大学本部/寝屋川市役所/摂南大学 地域連携センター/郵政考古学会/ゆったりんこ
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 新宿店/ジュンク堂書店 西宮店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/大手通りストリートギャラリー 街・発信/納屋工房/タバーン・シンポジウム/百練/奈良県立図書館情報館

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 大阪経済入門 in 中之島

日本銀行大阪支店が位置する中之島は、古くから大阪経済の中心。
その中之島を舞台に、大阪が抱える経済の諸問題を考えてみよう。

●『月刊島民』vol.38は2011年9月1日発行です！

編集・発行人/江 弘毅(編集集団140B)

編集・発行/月刊島民プレス

若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)

松本 創 大迫 力(編集集団140B)

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階

Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341

制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)

デザイン/山崎慎太郎

表紙イラスト/奈路道程

印刷/佐川印刷株式会社



こころまち つくろう
KEIHAN
京阪電車

いつもより、
風が涼しいかも。

上賀茂神社 ならの小川
橋葉けい子（大学3生）
衣装提供：京阪百貨店 守口店

おけいはん、浴衣で京を歩く。

出町柳の先へ、いつもと違う京へ、京阪電車で。



境内をめぐる水に、
心の中まで清められそう。

★
**上賀茂神社（賀茂別雷神社）/
御手洗川・ならの小川**

◎出町柳駅から徒歩



御手洗川

屋敷前に川が流れる
独特の町並み。

★
杜家町

◎出町柳駅から徒歩



春は桜、
夏は青葉の園。

★
半木の道

◎出町柳駅から徒歩



こんな駅の近くに?! 森と湧き水のある世界文化遺産。

★
**下鴨神社（賀茂御祖神社）/
御手洗池・糺の森・奈良の小川・瀬見の小川**

◎出町柳駅下車



御手洗池

鴨川の上流に、
澄んだ京風情が。

★
賀茂川（鴨川）

◎出町柳駅下車



川の中の公園で、
ゆったりな時間。

★
鴨川デルタ

◎出町柳駅下車



疏水沿いを
静かに散歩。

★
哲学の道

◎出町柳駅から徒歩



※詳しくは、京阪電車主要駅でチラシをご覧ください。

おけいはん 検索
www.okeihan.net

京阪の
おけいはん人、